

一般社団法人 日本ボクシング連盟
令和元年度 第1回理事会議事録

- 1 招集通知年月日 2019年5月9日(木)
1 開催年月日及び時刻 2019年5月12日(日)13時00分～18時10分
1 開催場所 岸記念体育会館1階会議室(東京都渋谷区神南1-1-1)
1 資格確認
理事 34名中29名出席 欠席理事5名
監事 2名中2名出席
議決権数 34個中29個

開会 (13時00分)

事務局より出席理事が定足数に達しているため理事会の成立が報告されたのち、内田貞信会長が開会の挨拶を行った。定款第18条に則り、会長から指名された鶴木副会長が議長となった。書記には池端常務理事、林田理事が指名され、定款38条により会長及び監事が署名人となることが報告され議案の審議に入った。

1 議事の経過の要領及び議案審議の結果

決議事項

第1号議案 北海道選出ブロック理事及び全国高体連専門委員長の理事選任の件(資料P01)

議長は、第1号議案について審議したい旨述べ、菊池事務局長により議案書に記載の候補者について説明が行われた。議長が下記の者の就任につきその可否を諮ったところ、過半数以上の賛成が得られたので可決し、総会に諮ることが決定した。

記

理事 佐藤 秀行(北海道ブロック推薦)
理事 篠原 宏和(全国高体連専門委員長)

以上

その後、菊池事務局長より理事の定員まで5名の空席があるため下記の5名について審議したい旨が述べられ、会場より質問と意見が出され、質疑応答が行われた(質疑応答の内容は別添資料)。理事会の招集通知に議題として記載されていないことが手続上の瑕疵に該当する可能性があることから採決には至らなかった。

記

高橋 雄介(東京都) 関根 裕典(東京都) 岡田 由希(埼玉県)
乃生 秀彦(日本連盟) 樋山 茂(奈良県)

以上

第2号議案 定款の一部変更の件（資料P02）

議長は第2号議案について審議したい旨述べ、吉沼公益化推進委員長より第8条の一部文言削除について詳細な説明が行われた。その後、岩井監事より、第1条の当法人の英語名称に関する文言訂正の必要性について指摘があり、この点も議案に追加された。特に質疑もなく、議長がその承認を求めたところ、満場一致で承認可決し総会に諮ることが決定した。

第3号議案 全都道府県に負担を求める件（資料P19）

議長は、第3号議案について審議したい旨述べ、菊池事務局長より詳細な説明が行われた。会場より質問が出され質疑応答が行われた（質疑応答の詳細は別添資料）。審議の結果、徴収方法について会長に委任したうえで総会に諮ることを議長がその承認を求めたところ、満場一致で承認可決した。

第4号議案 審判規定の変更の件（資料P20）

議長は、第4号議案について審議したい旨述べ、審判部長より詳細な説明が行われた。会場より質問が出され質疑応答が行われた（質疑応答の詳細は別添資料）。議長がその承認を求めたところ、満場一致で承認可決し総会に諮ることが決定した。

第5号議案 競技規則WEB公開する件（資料P23）

議長は、第5号議案について審議したい旨述べ、事務局より詳細な説明が行われた。特に質疑もなく、議長がその承認を求めたところ、満場一致で承認可決し総会に諮ることが決定した。

第6号議案 通常総会招集の件（資料P24）

議長は、第6号議案について審議したい旨述べ、事務局より、5月19日（日）11時から岸記念体育館で通常総会を開催する説明が行われた。その後、岩井監事より、第3号報告とされている「平成30年度決算報告」は総会の承認決議が必要であるから、報告ではなく議案とする必要がある旨の指摘があり、そのように第6号議案が修正された。議長がその承認を求めたところ、満場一致で承認可決した。

第7号議案 西村議員、松下議員の特別顧問就任の件（資料P43）

議長は、第7号議案について審議したい旨述べ、菊池事務局長より詳細な説明が行われた。特に質疑もなく、議長がその承認を求めたところ、満場一致で承認可決した。

第8号議案 アマチュア登録規定変更の件（資料P45）

議長は、第8号議案について審議したい旨述べ、菊池事務局長よりプロスポーツ選手がアマチュア登録するための規定の詳細な説明が行われた。会場より質問と意見が出され、質疑応答が行われた（質疑応答の内容は別添資料）。岩井監事より、第6条に規定改廃に関する内容（「この規定の改廃は、理事会の承認を要する。」）を追加してはどうかと指摘があり、そのように第8号議案が修正された。議長がその承認を求めたところ、満場一致で承認可決した。

第9号議案 平成30年度事業報告及び決算報告（資料P13～18）

議長は、第2号報告及び第3号報告について事務局に説明を求め、組織運営に関する報告、各委員会より事業状況が詳細に説明された。第2号報告についてアスリート委員会委員長の成松氏を紹介し詳細な説明が行われた。会場より質問が出され質疑応答が行われた（質疑応答の詳細は別添資料）。

引き続き、議長は、監査報告を岩井監事に説明を求めたところ、第2号報告の平成30年度事業報告及び第3号報告の平成30年度決算報告は審議事項である旨の指摘があり、第9号議案として審議されることになった。議長がその承認を求めたところ、満場一致で承認可決し総会に諮ることが決定した。

報告事項

第1号報告 公益法人移行認定申請の説明（資料P03）

議長は、第1号報告について吉沼公益化推進委員長に説明を求め詳細な説明がされた後、会場から質問が出され質疑応答が行われた（質疑応答の内容は別添資料）。

第3号報告 平成30年度監査報告（資料P18）

議長は、第3号監査について岩井監事に説明を求め詳細な説明と指摘があり、会場から質問が出され質疑応答が行われた（質疑応答の内容は別添資料）。

第4号報告 第7回全日本UJボクシング王座決定戦の運営について（資料P25～27）

議長は、第4号報告について菊池事務局長に説明を求め詳細な説明がされた。特に質疑はなかった。

第5号報告 第1回ゴールデンキッズボクシング大会及び生涯・障害スポーツ資料P28～34）

議長は、第5号報告について菊池事務局長に説明を求め大会運営について詳細な説明がされた。その後、伊田普及委員会副委員長から競技の実施方法について詳細な説明がされた。会場から質問が出され質疑応答が行われた（質疑応答の内容は別添資料）。

第6号報告 インテグリティ研修（テーマ：アンチ・ドーピング）（資料P35～42）

議長は、第6号報告について門田アンチ・ドーピング委員会委員長に説明を求め詳細な説明がされた。特に質疑はなかった。

その他

議長がその他の審議事項があるか確認したところ以下の意見や提案が出された。

1. 吉沼公益化推進委員長：UJの全国大会での+1kgまで認める件については、王座決定戦までの期間が短いので廃止しても良いのではないかと。またUJのユニフォームの色については赤、青を作成しない場合は中間色とするべきであるという意見が出された。
2. 中村常務理事：セカンド制度について議決されていないが、日連登録をしていればサブセカンドは認めてもらいたい。また公立高校では指導者の転勤もあるのでC級については各県での講習を実施

してもよいのか。またテクニカルミーティングは廃止してもよいのかという要望と質問が出された。菊池事務局長よりの回答：スポーツエントリーチェックを行い、監督会議でガバナンス研修を行えばテクニカルミーティングは行わなくてもよい。C級については各都道府県の講習で申請を出してもよい。再度、LINEグループで修正した案の決議を行います。

3. 富岡事務局長補佐：早急に議決しなければならない議事もあるのでLINEの投票機能で決議することを活用したいのでご協力をお願いしたい。速やかな反応をお願いします。
4. 会長より、6月23日のIOCの総会で東京オリンピックでのボクシング競技開催の可否が発表されるため6月末から7月の頭に臨時の理事会と総会を開催したい旨の提案があった。会場より質問が出され質疑応答が行われた（質疑応答の詳細は別添資料）。議長がその承認を求めたところ、満場一致で承認可決し6月29日（土）か30日（日）を候補とすることで承認された。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、18：10に閉会した。

以上の決議を明確にするために、この議事録を作成し、定款第38条第2項に従い出席した会長及び監事が議事録署名人としてこれに記名押印する。

以上の議事の内容を記録し、これを証するため署名押印する。